

2025年度上期 連結決算状況

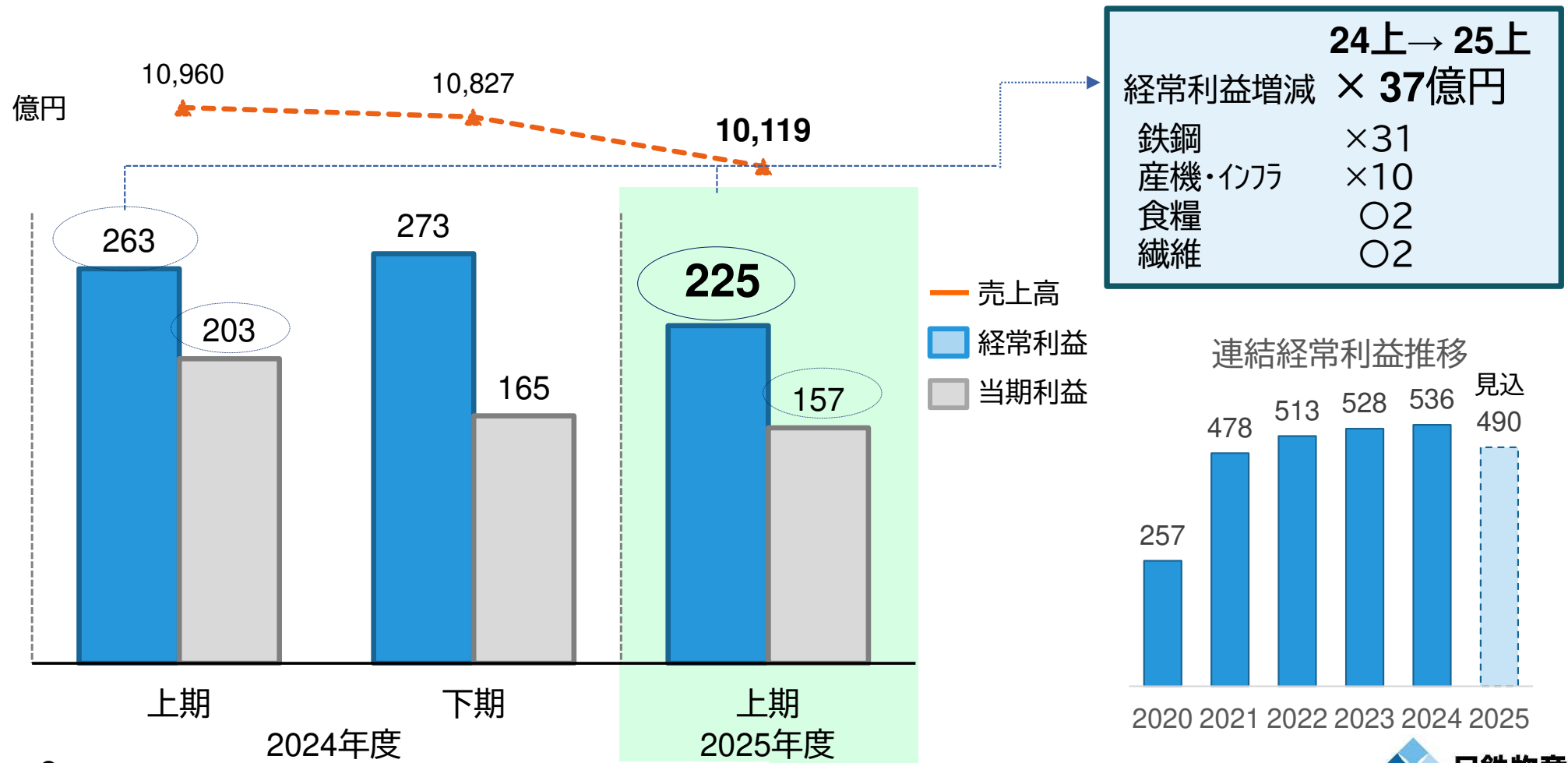
2025年11月



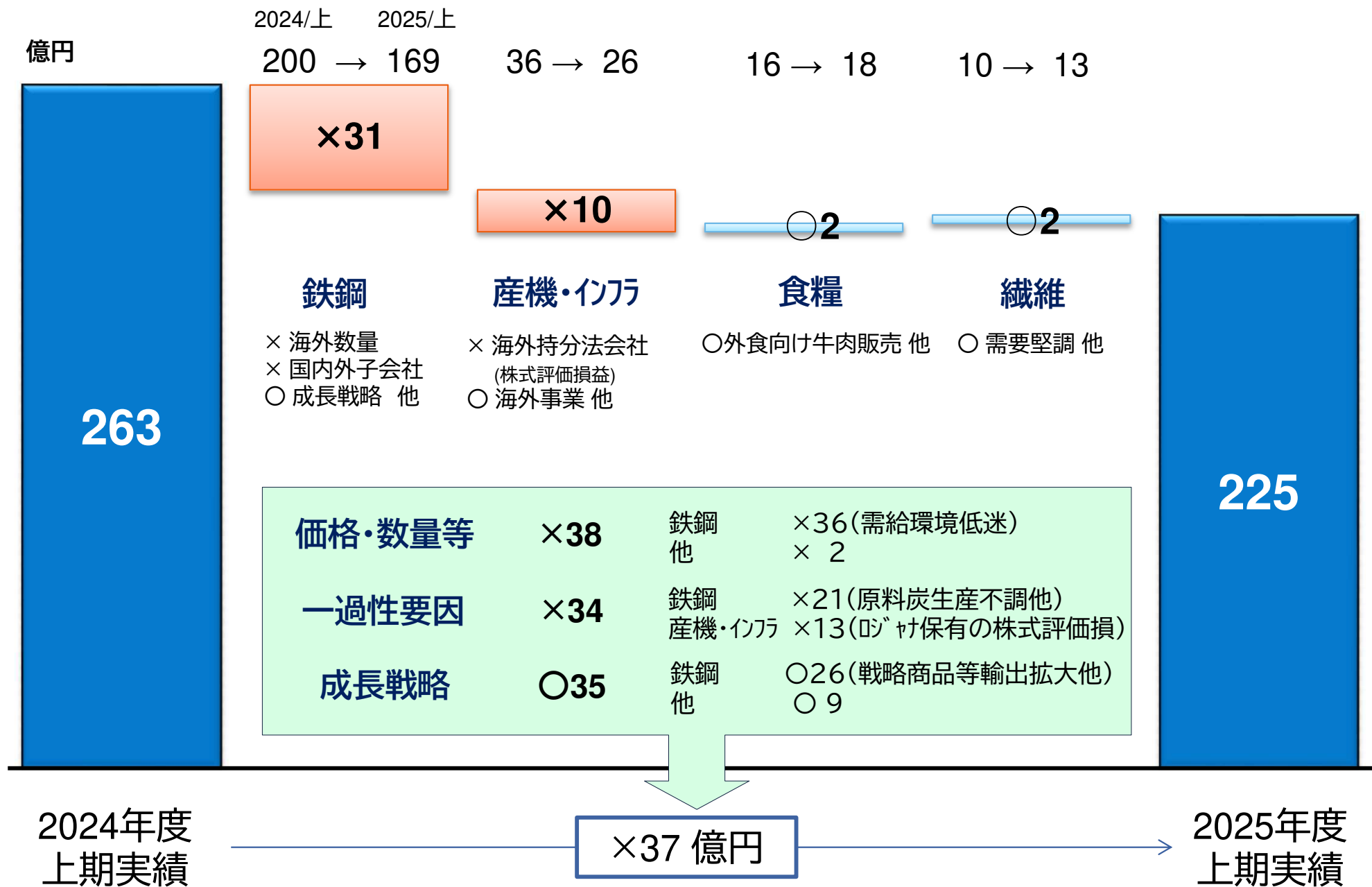
日鉄物産
NIPPON STEEL TRADING

2025年度上期連結決算のポイント

- 1) 鉄鋼事業は、建築分野等の国内鋼材需要の減少に伴い販売価格が下落し、海外需要の低迷や各国の通商政策動向の影響等により輸出数量が減少する等、厳しい環境が継続。
- 2) 鉄鋼事業における原料炭の生産不調等や、産機・インフラ事業のロジャナ工業団地が保有する株式の評価損等の一過性要因の影響もあり、連結経常損益は225億円と前年同期比×37億円の減益。
- 3) 当期純利益は、経常減益及び前期の関係会社等に係る特別利益の剥落等により×46億円の減益。
- 4) 2025年度の経常利益見通しは、490億円。



経常利益増減要因 (2024年度上期実績→2025年度上期実績)



鉄鋼事業経常利益増減 (2024年度上期実績→2025年度上期実績)

億円

200

価格・数量等

× 36

・海外数量 減
・円高 8円/US\$ 他

一過性要因

× 21

・原料炭生産不調 他

成長戦略等

○ 26

・戦略商品等輸出拡大(電磁等)
・脱炭素(冷鉄源等)○ 他

169

2024/上期
実績

経常利益 × 31 億円

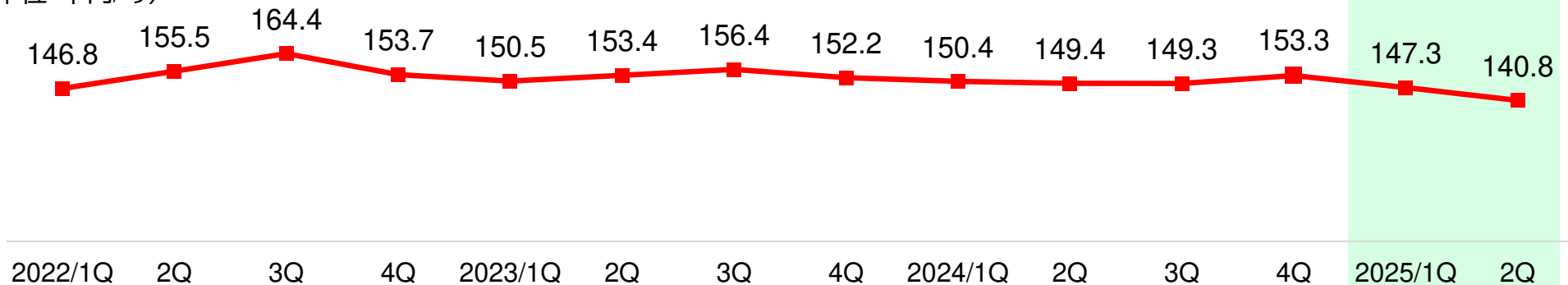
2025/上期
実績

当社連結鋼材取扱量

万トン	2024/上期	2025/上期	増減
連結計	899	832	△67
国内	452	453	+1
海外	447	380	△67

当社単体鋼材販売価格

(単位:千円/トン)



1. グリーン水素製造に必要な水電解装置の生産を手掛けるハイスター社への追加出資 (2025.5.26公表)

- ノルウェーのハイスター社(HYSTAR AS)は高効率の水電解装置を独自の特許技術で製造するハイテク企業。当社は、ハイスター社との関係を更に強化すべく、2023年の初回出資に続く追加出資を実施。ハイスター社への素材供給の継続や水電解装置の日本での拡販を積極的に推進し、日本市場でのグリーン水素ビジネスのさらなる拡大と脱炭素社会の実現に貢献していく。



当社 中村真一社長（左）と
ハイスター社のMOWILL社長（右）

2. ベトナムの大手工業団地デベロッパー、ヴィグラセラ社と販売代理店契約を締結 (2025.4.17公表)

- 当社は2017年よりベトナム南部においてフーミー3特別工業団地の販売代理店として事業を展開。近年、北部における工業団地のニーズが高まっていることを受け、北部で13カ所、中部で2カ所の工業団地を展開するヴィグラセラ社(Viglacera Real Estate Company)との販売代理店契約を締結、ベトナム全土での工業団地事業の拡大を目指す。

3. フィンランドの大手食品会社、ATRIA社とパートナーシップ強化に向けたMOUを締結 (2025.7.8公表)

- 抗生物質や成長ホルモンを使わない“PURE RARE”ポークを取り扱うフィンランドのATRIA社 (ATRIA FINLAND LTD.) とパートナーシップ連携強化に関するMOUを4月1日に締結。ATRIA社の豚肉、牛肉、鶏肉等のアジア、北米市場への拡販や、サステナビリティ分野での連携強化等により、地域社会の豊かな暮らしの具体的な取り組みを推進していく。



ATRIA社との調印式にて
ATRIA社 ヒルビヤルビ上級副社長（左）
当社 中村真一社長（右）

日鉄物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。



日鉄物産
NIPPON STEEL TRADING